

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年5月9日		(水)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	#1ガレキ撤去工事									
	発生場所	1号機周辺ヤード						2018/4/24	2018/4/24	2018/4/23	
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/4/12	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-101		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	可燃物その他(ハイオイルオガク)			A	04	W	B	0.1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h
2								m ²			
3								m ²			
4								m ²			
5								m ²			
1) 透明袋が結露してます 2) オガクスのカテゴリは、可燃物その他であることを確認済み(1号機建築グループ)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	05	—	0062
				2018/4/24
調整後保管日時		2018年5月9日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年5月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(ハイオイルオガク)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/5/9 8:30	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0006

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 凍土壁地下水観測設備凍結防止工事								
	発生場所	旧事務本館東側エリア						2018/4/24	2018/4/24	2018/4/24
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/5/10		測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号
										1F-ICWBL-14
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	アスファルトガラ			① B 09 ② D ③ A	5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2					m ²				
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
メモ	1F 1~3号機室素封入設備信頼性向上対策設備敷地造成工事									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0064
				2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年5月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-83	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/10 10:55	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 凍土壁地下水観測設備凍結防止工事								
	発生場所	旧事務本館東側エリア						2018/4/24	2018/4/24	2018/4/24
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/5/10	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
1F 1～3号機室素封入設備信頼性向上対策設備敷地造成工事										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0065
				2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月10日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年5月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ⑪	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/10 11:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0006

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	12:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F 凍土壁地下水観測設備凍結防止工事									
	発生場所	旧事務本館東側エリア						2018/4/24	2018/4/24	2018/4/24	
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/5/10		測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	① ② ③										
	1	アスファルトガラ			5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無			
	2				m ²						
3				m ²							
4				m ²							
5				m ²							
モ	1F 1～3号機室素封入設備信頼性向上対策設備敷地造成工事										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0066
				2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月10日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年5月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/10 12:20	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	D	伐 採 木	状態	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
	③	D	状態	履歴				
	④	D	状態	履歴				
	⑤	D	状態	履歴				
	⑥	D	状態	履歴				
	⑦	D	状態	履歴				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月11日		(金)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F 凍土壁地下水観測設備凍結防止工事									
	発生場所	旧事務本館東側エリア				2018/4/24	2018/4/24	2018/4/24			
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/5/10	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	アスファルトガラ			B 09 D A		5 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
1F 1～3号機室素封入設備信頼性向上対策設備敷地造成工事											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0067
				2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月11日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年5月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-83	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/11 8:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0006

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月11日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 凍土壁地下水観測設備凍結防止工事								
	発生場所	旧事務本館東側エリア						2018/4/24	2018/4/24	2018/4/24
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/5/10	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	アスファルトガラ			① B 09 ② D ③ A	5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
1F 1～3号機室素封入設備信頼性向上対策設備敷地造成工事										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0068
				2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月11日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年5月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-83	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/11 9:20	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0006

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年5月11日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 凍土壁地下水観測設備凍結防止工事								
	発生場所	旧事務本館東側エリア						2018/4/24	2018/4/24	2018/4/24
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/5/10	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	1F 1～3号機窒素封入設備信頼性向上対策設備敷地造成工事									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0069
				2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月11日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年5月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-83	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/11 10:35	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013111 - 0006	
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月11日			(金)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 凍土壁地下水観測設備凍結防止工事									
	発生場所	旧事務本館東側エリア						2018/4/24	2018/4/24	2018/4/24	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/5/10	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
1F 1～3号機室素封入設備信頼性向上対策設備敷地造成工事											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/4/25
廃2018	—	05	—	0070	
調整後保管日時		2018年5月11日			11:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年5月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-83	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/5/11 11:35	5 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0006	
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月11日			(金)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	濃縮処理水タンクエリア他PE管設置工事ならびに同関連除却工事									
	発生場所	C2エリア近傍					2018/4/24	2018/4/24	2018/4/24		
	作業主管G	処理設備グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/4/13	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-3	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	木材類	A	03	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	不燃物その他	B	10	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	ゴム類	C	01	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄		受付
受付番号		
廃2018	— 05 — 0080	2018/4/25
調整後保管日時	2018年5月11日	11:30
【保管時の指示事項等】		

線量測定内容			
測定日	2018年5月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-83
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/11 11:20	0.5 m ²			1
	3	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/11 11:20	2 m ²			1
	4	1	不燃物その他 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/11 10:45	0.5 m ²			2
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013112 - 0002		
作業主管理	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	8:00		承認		審査		作成			
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事												
	発生場所	G1タンク盛土上										2018/4/25 2018/4/25 2018/4/25		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL						
	元請会社					担当者		TEL						
線量測定	線量測定年月日	2018/4/24		測定者		測定器名		電離箱式サーベイメーター		管理番号		F1-ICWBL-70		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率	
1	コンクリートガラ(タコマット付き)	B	02	D	B	15	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
2							m ³							
3							m ³							
4							m ³							
5							m ³							
メモ	・破碎不可 ・10tダンプ(5m3分)×3台=15m3 コンクリートガラ搬出します。													
線量測定内容 測定日 2018年5月10日 測定No. 氏名 測定器 管理番号 1 氏名 ICWBL F1-ICWBL-83 2 3 4														
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.		
	1	1	コンクリートガラ(タコマット付き) ⑪	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/10 8:15	5 m ³			1		
	1	2	コンクリートガラ(タコマット付き) ⑪	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/10 8:20	4 m ³			1		
									m ³					
									m ³					
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	残Con処理場エリア						2018/4/25	2018/4/25	2018/4/25		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/4/24		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	T-JCWBL-03	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ			B	02	D	B	15 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
10tダンプ(5m3分) × 3台 = 15m3 コンクリートガラ搬出します。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0085
				2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月10日		8:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れを制限する場合があります。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/10 8:45	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月11日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Con処理場エリア					2018/4/25	2018/4/25	2018/4/25	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員					
	元請会社				担当者					
	線量測定年月日	2018/4/24	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	T-JCWBL-03	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ			① B 02 ② D ③ B	15 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
メ モ	10tダンプ(5m3分)×3台=15m3 コンクリートガラ搬出します。									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	05	—	0086	2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月11日		8:30	
【保管時の指示事項等】					
当日の状況によって 受入れを制限する場合があります。					

線量測定内容			
測定日	2018年5月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/11 8:10	3 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/11 8:25	3 m ²			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/11 8:40	3 m ²			1
	1	4	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/11 9:00	3 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0050

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0096
				2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月11日		9:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年5月11日		(金)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	Bエリアタンク設置工事									
	発生場所	H2エリア						2018/4/25	2018/4/25	2018/4/25	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/4/18	測定者			測定器名	ICW		管理番号	ICW-348	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
			①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	B	3.5 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	2	機器・制御盤類	B	03	D	B	0.3 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
3	ケーブル類	B	08	D	B	0.2 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
4	不燃物その他	B	10	D	B	1 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
5						m ²					
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2018年5月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/11 9:15	2 m ²			1
	4	1	不燃物その他③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/11 9:15	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0004

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	建物保全関係工事									
	発生場所	企業棟A棟休憩所付近(GS-24南)						2018/4/24	2018/4/24	2018/4/24	
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/4/19		測定者			測定器名	PS(パトリールサーベイ)		管理番号	F1-PS-207
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	① ② ③										
	1	アスファルトガラ			10 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無			
	2				m ²						
3				m ²							
4				m ²							
5				m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0098
				2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月10日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年5月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/10 11:25	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013111 - 0011			
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月9日		(水)	13:00		承認	審査	作成				
	作業件名	1F 地下水ドレン清掃業務委託											
	発生場所	旧事務本館東側エリア					2018/4/25	2018/4/25	2018/4/25				
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL					
	元請会社				担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/4/9	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	金属ガラ			B	01	D	A	5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2								m ²				
	3								m ²				
4								m ²					
5								m ²					
1F 1~3号機室素封入設備信頼性向上対策設備敷地造成工事													

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
廃2018	—	05	—	0104	2018/4/26
調整後保管日時		2018年5月9日		13:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容					
測定日	2018年5月9日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICWBL	F1-ICWBL-83		
2					
3					
4					

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/9 13:05	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年5月7日		(月)	9:30		承認	審査	作成					
	作業件名	空調設備保守点検業務委託												
	発生場所	2,3号機間装備交換所、5,6号防護本部						2018/4/26	2018/4/24	2018/4/24				
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/4/23		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	FI-ICW-052			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
		①	②	③										
	1	空調機室外ユニット	B	03	D	A	0.2	m ²	0.002	mSv/h	0.004	mSv/h	無	
	2	空調機室外ユニット	B	03	D	A	0.1	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
3	空調機室内ユニット	B	03	D	A	0.1	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
4							m ²							
5							m ²							
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0109
				2018/4/26
調整後保管日時		2018年5月7日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年5月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	空調機室外ユニット ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/7 9:45	0.2 m ²			1
	2	1	空調機室外ユニット ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/7 9:45	0.1 m ²			1
	3	1	空調機室内ユニット ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/7 9:45	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0050

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	9:30		承認	審査	作成						
	作業件名	Bエリアタンク設置工事													
	発生場所	H2エリア						2018/4/26	2018/4/25	2018/4/25					
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/4/18	測定者			測定器名	ICW		管理番号	ICW-348					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率						
	① ② ③														
	1	金属ガラ	B	01	D	B	3.5	m ²	1	μSv/h	1	μSv/h	無		
	2	機器・制御盤類	B	03	D	B	0.3	m ²	1	μSv/h	1	μSv/h	無		
3	ケーブル類	B	08	D	B	0.2	m ²	1	μSv/h	1	μSv/h	無			
4	不燃物その他	B	10	D	B	1	m ²	1	μSv/h	1	μSv/h	無			
5							m ²								
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0110
				2018/4/26
調整後保管日時		2018年5月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年5月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/10 9:15	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履歴		
						A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0040

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	10:00		承認	審査	作成					
	作業件名	タンク連結管他点検関連												
	発生場所	H8タンクエリア						2018/4/26	2018/4/26	2018/4/26				
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/4/25	測定者			測定器名	ICWB		管理番号	F1-ICWBL-3				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率					
	① ② ③													
	1	紙, ウェス類	A	01	D	B	2	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無	
	2	プラスチック, ポリ, ビニール類	A	02	D	B	3	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無	
3							m ²							
4							m ²							
5							m ²							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0111
				2018/4/26
調整後保管日時		2018年5月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年5月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙, ウェス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/10 9:30	2.2 m ²			1
	2	1	プラスチック, ポリ, ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/10 9:30	2.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013206 - 0011	
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月7日			(月)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	空調設備保守点検業務委託									
	発生場所	免震重要棟、化学分析棟、大型休憩所、企業棟A棟							2018/4/26	2018/4/26	2018/4/26
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/4/20		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	FI-ICW-052
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属がら			B 01	D A	3 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	活性炭			B 10	D A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3	空調系フィルタ			B 10	D A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
4	ケーブル類			B 08	D A	1 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
5						m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0113
				2018/4/27
調整後保管日時		2018年5月7日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年5月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		金属がら ⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/5/7 9:50	3	m ²			1
2	1		活性炭 ③	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/5/7 9:50	2	m ²			1
3	1		空調系フィルタ ③	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアC	2018/5/7 9:50	2	m ²			1
4	1		ケーブル類 ⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/5/7 9:50	0.2	m ²			1
												m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —			
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0002

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月9日		(水)	12:30		承認	審査	作成													
	作業件名	汚染水タンク雨水対策(堰カバー)工事																				
	発生場所	各タンクエリア						2018/4/25	2018/4/25	2018/4/25												
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL															
	元請会社					担当者	TEL															
	線量測定年月日	2018/4/20	測定者			測定器名	ICWBL($\beta + \gamma$)		管理番号	F1-ICWBL-72												
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率										
			①	②	③																	
1			難燃物(ゴム類)	C	01								D	B	0.2	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
2			難燃物(難燃シート類)	C	02								D	B	0.5	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
3			難燃物(その他)	C	04								D	B	0.2	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
4	不燃物(その他)	B	10	D	B	0.5	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無										
5	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	B	4	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無										
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	05	—	0116
				2018/4/27
調整後保管日時		2018年5月9日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年5月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-83
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物(ゴム類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/9 12:20	0.05 m ²			1
	2	1	難燃物(難燃シート類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/9 12:20	0.2 m ²			1
	4	1	不燃物(その他) ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/9 10:10	0.2 m ²			2
	5	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/9 10:10	4 m ²			2
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				③	状態	D:乾燥, W:湿気有	④	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013213 - 0001							
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月8日		(火)	11:30		承認	審査	作成								
	作業件名	3号機海側周辺構内整備および関連除却工事															
	発生場所	3・4号機サービスビル建屋周辺(GI-24)						2018/4/25	2018/4/25	2018/4/25							
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員			TEL								
	元請会社					担当者			TEL								
	線量測定年月日	2018/4/23		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率								
				①						②	③						
	1	土砂類・トンパツク			B	04	D	A	15	m ²	0.08	mSv/h	0.25	mSv/h	β有	0.33	mSv/h
	2									m ²							
3									m ²								
4									m ²								
5									m ²								
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																	

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	05	—	0117	2018/4/27
調整後保管日時		2018年5月8日		11:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年5月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				10	μ Sv/h	190	μ Sv/h	240	μ Sv/h						
1	1	1	土砂類・トンパツク	10	μ Sv/h	190	μ Sv/h	240	μ Sv/h	エリアW1	2018/5/8 9:20	15	m ²		1
													m ²		
													m ²		
													m ²		
													m ²		

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	9:30		承認	審査	作成						
	作業件名	3号機海側周辺構内整備および関連除却工事													
	発生場所	3・4号機サービスビル建屋周辺(GI-24)						2018/4/25	2018/4/25	2018/4/25					
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL								
	元請会社					担当者	TEL								
	線量測定年月日	2018/4/17	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率						
	① ② ③														
	1	蛍光灯	B	10	D	A	0.3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β有	0.04	mSv/h
	2							m ²							
3							m ²								
4							m ²								
5							m ²								
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0118
				2018/4/27
調整後保管日時		2018年5月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				
蛍光管は割れ防止のため、プラスチック容器に収納をお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年5月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-83	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	蛍光灯	5 μSv/h	10 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/5/10 9:25	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	D	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0028		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年5月8日		(火)	12:00		承認	審査	作成			
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】										
	発生場所	タンクヤード					2018/4/27	2018/4/27	2018/4/27			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
メ モ	線量測定年月日	2018/4/9		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-4	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
	① ② ③											
	1	コンクリートガラ			5 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無				
	2				m ³							
3				m ³								
4				m ³								
5				m ³								
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0119
				2018/4/27
調整後保管日時		2018年5月8日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年5月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h								
1	1		コンクリートガラ ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/5/8 9:30	5 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —					
		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —					
D	伐 採 木										
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月8日	(火)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】								
	発生場所	タンクヤード			2018/4/27	2018/4/27	2018/4/27			
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/4/9	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-4			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率			
	①	②	③							
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0120
				2018/4/27
調整後保管日時		2018年5月8日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年5月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/8 10:45	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0028																																																																													
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月9日		(水)	9:30		承認	審査	作成																																																																														
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】																																																																																					
	発生場所	タンクヤード						2018/4/27	2018/4/27	2018/4/27																																																																													
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL																																																																															
	元請会社				担当者			TEL																																																																															
	線量測定年月日	2018/4/9	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-4																																																																													
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																																																													
	1	コンクリートガラ			① B 02 ② D ③ A	5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無																																																																														
	2					m ²																																																																																	
	3					m ²																																																																																	
4					m ²																																																																																		
5					m ²																																																																																		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">線量測定内容</th> </tr> <tr> <td>測定日</td> <td colspan="10">2018年5月9日</td> </tr> <tr> <td>測定No.</td> <td>氏名</td> <td>測定器</td> <td colspan="8">管理番号</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="8">F1-ICWBL-83</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> </thead></table>												線量測定内容										測定日	2018年5月9日										測定No.	氏名	測定器	管理番号								1		ICWBL	F1-ICWBL-83								2											3											4										
線量測定内容																																																																																							
測定日	2018年5月9日																																																																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																				
1		ICWBL	F1-ICWBL-83																																																																																				
2																																																																																							
3																																																																																							
4																																																																																							
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																											
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/5/9 9:00	1 m ²			1																																																																											
									m ²																																																																														
									m ²																																																																														
									m ²																																																																														
									m ²																																																																														
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																							
メ モ																																																																																							
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																										
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																										
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																										
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																										
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																										
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																										
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																										
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																										
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																										
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																															
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																																																							

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0062

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月9日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	5, 6T RO装置ろ過器フィルター他交換業務委託									
	発生場所	Fタンクエリア(GL-11北側付近)						2018/4/27	2018/4/27	2018/4/26	
	作業主管G	機械グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/4/13	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-046	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	ダンボール	A	01	D	A	5 m ³	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2						m ³				
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0126
				2018/4/27
調整後保管日時		2018年5月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年5月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/5/9 10:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013402 - 0062					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月10日				(木)	10:00		承認	審査	作成						
	作業件名	5, 6T RO装置ろ過器フィルター他交換業務委託															
	発生場所	Fタンクエリア(GL-11北側付近)							2018/4/27	2018/4/27	2018/4/26						
	作業主管G	機械グループ				監理員			TEL								
	元請会社					担当者			TEL								
	線量測定年月日	2018/4/13		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-046						
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
	1	ダンボール				A	01	D	A	3	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
	2	ビニール				A	02	D	A	2	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
	3										m ²						
4										m ²							
5										m ²							
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0127
				2018/4/27
調整後保管日時		2018年5月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容											
測定日	2018年5月10日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/5/10 10:00	0.1	m ²			1
	2	1	ビニール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/5/10 10:00	1.2	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —					
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —					
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	05	—	0128
				2018/4/27
調整後保管日時		2018年5月11日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年5月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-83	
2				
3				
4				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年5月11日		(金)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事										
	発生場所	共用プール建屋 屋外, 屋内						2018/4/26	2018/4/26	2018/4/26		
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/4/17	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注		
	No.	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③								
	1	ケーブル屑 他	B	08	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	番線屑, 金属ガラ 他	B	01	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	シリカゲル 他	B	10	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4	木材 他	A	03	D	A	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h	
5	マスリン 他	A	01	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h	
注:F1-ICW-154/F1-ICWBL-41												

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル屑 他 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/11 9:55	4.5 m ²			1
	2	1	番線屑, 金属ガラ 他 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/11 9:55	0.5 m ²			1
	3	1	シリカゲル 他 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/11 9:55	0.2 m ²			1
	4	1	木材 他	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2018/5/11 9:55	0.1 m ²			1
	5	1	マスリン 他	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2018/5/11 9:55	0.1 m ²			1
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		B	不燃物	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)														
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。														
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。														

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②										
	6	ロープ 他	A	04	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.03	mSv/h	β 有	0.4	mSv/h
	7						m ²								
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	05	—	0128

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・wes類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥 W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012801 - 0017																																				
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年5月11日		(金)		8:00		承認	審査	作成																																			
	作業件名		1F-3 燃料取扱設備他点検																																											
	発生場所		共用プール北側					2018/5/8	2018/5/8	2018/5/8																																				
	作業主管G		燃料設備グループ			監理員		TEL																																						
	元請会社					担当者		TEL																																						
	線量測定年月日		2018/4/17		測定者		測定器名		ICW	管理番号 1F-ICW-154																																				
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β + γ 線量率																																		
	1		足場材			B 01 D A		4 m ²		0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無																																		
	2																																													
	3																																													
4																																														
5																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年5月11日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-012</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容					測定日	2018年5月11日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-012		2					3					4				
線量測定内容																																														
測定日	2018年5月11日																																													
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																											
1		ICW	F1-ICW-012																																											
2																																														
3																																														
4																																														
保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																		
	1	1	足場材 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/11 8:00	2 m ²			1																																		
	1	2	足場材 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/5/11 8:05	1 m ²			1																																		
									m ²																																					
									m ²																																					
									m ²																																					
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																														
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
		D	伐採木																																											
		②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																				
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。																																														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0005

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月9日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 凍土壁表層対策工事								
	発生場所	8.5m盤(GL-26北)						2018/4/19	2018/4/18	2018/4/18
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/4/10	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-360
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
1	木材	A	03	D	B	5 m ³	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メ モ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	05	—	0001	2018/4/19
調整後保管日時		2018年5月9日		8:30	
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容				
測定日	2018年5月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/5/9 8:45	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015602 - 0001					
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年5月7日		(月)	10:30		承認	審査	作成						
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン浄化用フィルタ交換他業務委託(H30)													
	発生場所	サブドレン浄化建屋(GR-19 西)						2018/4/19	2018/4/19	2018/4/19					
	作業主管G	水処理計画グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
線量測定年月日	2018/4/17	測定者				測定器名	ICW		管理番号	1F-ICW-110					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率						
		①	②	③											
	1	紙・ウェス	A	01	D	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	2							m ²							
3							m ²								
4							m ²								
5							m ²								
メモ	回収														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	05	—	0004
				2018/4/19
調整後保管日時		2018年5月7日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年5月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/7 10:10	2.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No. 6015602 - 0001																													
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年5月11日				(金)		10:30				承認		審査		作成																											
	作業件名		1F-1~4号機 サブドレン浄化用フィルタ交換他業務委託(H30)																																									
	発生場所		サブドレン浄化建屋(GR-19 西)												2018/4/19		2018/4/19		2018/4/19																									
	作業主管G		水処理計画グループ				監理員						TEL																															
	元請会社						担当者						TEL																															
	線量測定年月日		2018/4/17		測定者				測定器名		ICW		管理番号		1F-ICW-110																													
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率																											
	1		プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 D B			2 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無																													
	2								m ²																																			
	3								m ²																																			
4								m ²																																				
5								m ²																																				
回収																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年5月11日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td>F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																	線量測定内容				測定日	2018年5月11日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICW	F1-ICW-158	2				3				4			
線量測定内容																																												
測定日	2018年5月11日																																											
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																									
1		ICW	F1-ICW-158																																									
2																																												
3																																												
4																																												
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																													
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/5/11 10:30	2.9 m ²			1																													
												m ²																																
												m ²																																
												m ²																																
												m ²																																
												m ²																																
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																												
メ																																												
モ																																												
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																															
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																															
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																															
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																															
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																															
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																															
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																															
		D	伐採木																																									
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																																												
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																																												
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																												

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0044

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年5月8日		(火)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	第三セシウム吸着装置(SARRY2)								
	発生場所	プロセス建屋 4FL(GT-25南)						2018/4/20	2018/4/20	2018/4/20
	作業主管G	設備電源グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
線量測定年月日	2018/4/5	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	酢酸ビニール 他	A 02	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	紙, ダンボール 他	A 01	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
メ モ	3	パイオランテフ, 皮手 他	A 04	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	4	難燃シート 他	C 02	D B	0.6 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	5	エフレックス 他	C 04	D B	0.4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	回収									
	注1:F1-ICW-268/F1-ICWBL-92									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	05	—	0007
				2018/4/23
調整後保管日時		2018年5月8日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	酢酸ビニール 他	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアO	2018/5/8 8:40	1 m ²			1
2	1	紙, ダンボール 他	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアO	2018/5/8 8:40	0.6 m ²			1
3	1	パイオランテフ, 皮手 他	2 μSv/h	6 μSv/h			エリアO	2018/5/8 8:40	0.5 m ²			1
4	1	難燃シート 他	2 μSv/h	3 μSv/h			エリアO	2018/5/8 8:40	0.5 m ²			1
5	1	エフレックス 他	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアO	2018/5/8 8:40	0.1 m ²			2
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0044

作業主管理	保管希望日時	2018年5月11日		(金)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	第三セシウム吸着装置(SARRY2)									
	発生場所	サイドバンカー建屋 2FL(GT-25南)						2018/4/20	2018/4/20	2018/4/20	
	作業主管G	設備電源グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
G記入欄	線量測定年月日	2018/4/17		測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	① ② ③										
	1	段ボール			1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
	2	発泡スチロール			2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
3	ビニール類、他			1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無				
4				m ²							
5				m ²							
メモ	回収 注1:F1-ICW-158/F1-ICWBL-35										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	05	—	0008
				2018/4/23
調整後保管日時		2018年5月11日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	段ボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/11 8:30	0.9 m ²			1
	2	1	発泡スチロール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/11 8:30	1 m ²			1
	3	1	ビニール類、他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/11 8:30	1.1 m ²			1
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

計上No. 6013704 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
高2018	—	05	—	0009	
					2018/4/23
調整後保管日時		2018年5月9日			10:30
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/5/9 10:05	3.5 m ³			1
	1	2	プラスチック・ポリ・ビニール類(→H)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/5/9 10:05	0.3 m ³			1
	2	1	不燃物その他(防災シート) ③	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/5/9 10:25	0.2 m ³			2
	3	1	木材	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/5/9 10:05	1 m ³			1
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥、W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年5月7日	(月)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務						
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/4/23	2018/4/23	2018/4/19	
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL			
	元請会社			担当者	TEL			
G記入欄	線量測定年月日	2018/4/18	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無	
	1	ビニール類	A	02	D	A	5 m ²	5 μ Sv/h
	2						m ²	
メ	3						m ²	
	4						m ²	
	5						m ²	
	回収							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	05	—	0010
				2018/4/23
調整後保管日時		2018年5月7日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	1	ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/5/7 9:30	4.2 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年5月7日	(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/4/23	2018/4/23	2018/4/19			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
線量測定年月日	2018/4/18	測定者			測定器名	F1-SC	管理番号	157		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ビニール類	A	02	D	A	5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	05	—	0011
				2018/4/23
調整後保管日時		2018年5月7日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
メモ	1	1	ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/5/7 9:30	4 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メモ															

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001																													
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月8日		(火)	9:30		承認	審査	作成																														
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務																																					
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2018/4/23	2018/4/23	2018/4/19																														
	作業主管G	総務グループ				監理員	TEL																																
	元請会社					担当者	TEL																																
	線量測定年月日	2018/4/18	測定者			測定器名	F1-SC		管理番号	157																													
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																													
	1	ビニール類		A	02	D	A	5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無																												
	2							m ²																															
	3							m ²																															
4							m ²																																
5							m ²																																
メ	回収																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年5月8日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td>F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容				測定日	2018年5月8日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICW	F1-ICW-158	2				3				4			
線量測定内容																																							
測定日	2018年5月8日																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																				
1		ICW	F1-ICW-158																																				
2																																							
3																																							
4																																							
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																											
	1	1	ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/5/8 9:30	4.7 m ²			1																											
									m ²																														
									m ²																														
									m ²																														
									m ²																														
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																							
メ																																							
モ																																							
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																										
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																										
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																										
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																										
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																										
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																										
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																										
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																										
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																											
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																							

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年5月8日	(火)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/4/23	2018/4/23	2018/4/19		
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
線量測定年月日	2018/4/18	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号	157		
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	ビニール類	A 02	D A	4 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無	
	2	発泡スチロール	A 02	D A	1 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無	
3				m ²					
4				m ²					
5				m ²					
メモ	回収								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	05	—	0013
				2018/4/23
調整後保管日時		2018年5月8日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/8 9:30	3 m ²			1
	2	1	発泡スチロール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/8 9:30	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月10日	(木)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫6号棟 地下1階、地下2階			2018/4/23	2018/4/23	2018/4/23			
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/4/12	測定者		測定器名	線量測定器	管理番号 1F-PS-205			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	難燃シート類	C	02	D	A	4 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
回収 GT-21南 事務所										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	05	—	0020
				2018/4/24
調整後保管日時		2018年5月10日		9:30
【保管時の指示事項等】 時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート類	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2018/5/10 9:40	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴		
						A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫6号棟 地下1階、地下2階						2018/4/23	2018/4/23	2018/4/23
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/4/12	測定者			測定器名	線量測定器	管理番号	1F-PS-205	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	エフケックス	C	04	D	B	4 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	回収 GT-21南 事務所									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	05	—	0021
				2018/4/24
調整後保管日時		2018年5月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフケックス (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/5/10 10:05	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴		
						A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作業 主 管 欄 × モ	保管希望日時	2018年5月10日		(木)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事									
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫6号棟 地下1階、地下2階						2018/4/23	2018/4/23	2018/4/23	
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/4/12	測定者			測定器名	線量測定器	管理番号	1F-PS-205		
	G 記 入 欄 × モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	木材	A	03	D	A	4 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
×	回収 GT-21南 事務所										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	05	—	0022
				2018/4/24
調整後保管日時		2018年5月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。				
発生場所にて管理票の確認。				
運搬車を配備致しますので				
保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/5/10 10:45	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

×

モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年5月11日	(金)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事						
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫6号棟 地下1階、地下2階			2018/4/23	2018/4/23	2018/4/23	
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL			
	元請会社			担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/4/12	測定者			測定器名	線量測定器	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	4 m ²	2 μ Sv/h
	2						m ²	
メ モ	3						m ²	
	4						m ²	
	5						m ²	
	回収 GT-21南 事務所							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	05	—	0023
				2018/4/24
調整後保管日時		2018年5月11日		9:30
【保管時の指示事項等】 時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/5/11 9:45	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013205	-	0003
-------	---------	---	------

作業主	保管希望日時	2018年5月11日		(金)	10:30		承認		審査		作成						
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事															
主	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫6号棟 地下1階、地下2階						2018/4/23		2018/4/23		2018/4/23					
	作業主管	G 建築総合工事グループ				監理員				TEL							
管	元請会社					担当者				TEL							
	線量測定年月日	2018/4/12		測定者		測定器名		線量測定器		管理番号		1F-PS-205					
G	No.	保管物名				※カテゴリ		物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
		①		②		③											
記入欄	1	プラスチック・ポリ・ビニール類		A	02	D	A	4	m ²	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	無			
	2								m ²								
	3								m ²								
	4								m ²								
	5								m ²								
メモ	回収 GT-21南 事務所																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					2018/4/24
高2018	—	05	—	0024	
調整後保管日時		2018年5月11日			
【保管時の指示事項等】					
時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年5月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/5/11 9:45	2	m ³			1
	1	2	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/5/11 9:45	0.3	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月11日	(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事							
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫6号棟 地下1階、地下2階			2018/4/23	2018/4/23	2018/4/23		
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
G	線量測定年月日	2018/4/12	測定者		測定器名	線量測定器	管理番号 1F-PS-205		
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	可燃物その他	A 04	D A	4 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	2				m ³				
	3				m ³				
	4				m ³				
	5				m ³				
メ モ	回収 GT-21南 事務所								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	05	—	0025
				2018/4/24
調整後保管日時		2018年5月11日		10:30
【保管時の指示事項等】 時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年5月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	8 μ Sv/h		エリアO	2018/5/11 10:30	1.3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0003																								
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年5月11日		(金)	11:30		承認	審査	作成																								
	作業件名		事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事																															
	発生場所		固体廃棄物貯蔵庫6号棟 地下1階、地下2階				2018/4/23	2018/4/23	2018/4/23																									
	作業主管G		建築総合工事グループ				監理員	TEL																										
	元請会社						担当者	TEL																										
	線量測定年月日		2018/4/12		測定者			測定器名	線量測定器	管理番号 1F-PS-205																								
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																								
	1	紙・ウエス類		A	01	D	A	3 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無																							
	2							m ²																										
	3							m ²																										
4							m ²																											
5							m ²																											
回収 GT-21南 事務所																																		
<div> <div>固体廃棄物管理G記入欄</div> <div> <div>受付</div> <div> <div>受付番号</div> <div> <div>高2018</div> <div>—</div> <div>05</div> <div>—</div> <div>0026</div> </div> </div> <div>2018/4/24</div> </div> <div> <div>調整後保管日時</div> <div>2018年5月11日</div> <div>11:00</div> </div> <div> <div>【保管時の指示事項等】</div> <div>時間調整をしています。</div> <div>発生場所にて管理票の確認。</div> <div>運搬車を配備致しますので</div> <div>保管物の詰込みをお願いします。</div> </div> </div>																																		
<div>線量測定内容</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年5月11日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td>F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											測定日	2018年5月11日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICW	F1-ICW-158	2				3				4			
測定日	2018年5月11日																																	
測定No.	氏名	測定器	管理番号																															
1		ICW	F1-ICW-158																															
2																																		
3																																		
4																																		
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																						
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	3 μSv/h		エリアO	2018/5/11 10:30	2.8 m ²			1																						
									m ²																									
									m ²																									
									m ²																									
									m ²																									
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																		
メ モ																																		
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																					
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																					
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																					
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																					
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																					
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																					
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																					
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																					
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																										
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																		

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月7日		(月)	8:00		承認	審査	作成						
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事													
	発生場所	H4N						2018/4/25	2018/4/25	2018/4/25					
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/4/24		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77				
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率				
		①	②	③											
	1	砕石	B	04	D	A	4	m ³	0.002	mSv/h	0.012	mSv/h	β有	1	mSv/h
	2	コンガラ	B	02	D	A	10	m ³	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	β有	0.3	mSv/h
3	ゴムマット	C	01	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β有	0.23	mSv/h	
4							m ²								
5							m ²								
メ モ	土のうにてW1に運搬15袋														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	05	—	0027
				2018/4/25
調整後保管日時		2018年5月7日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年5月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	砕石	10 μSv/h	10 μSv/h	5.23 mSv/h	エリアW1	2018/5/7 8:00	4 m ³			1
	2	1	コンガラ	10 μSv/h	17 μSv/h	1.26 mSv/h	エリアW1	2018/5/7 8:00	10 m ³			1
	3	1	ゴムマット	10 μSv/h	10 μSv/h	583 μSv/h	エリアW1	2018/5/7 8:00	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年5月7日	(月)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4N			2018/4/25	2018/4/25	2018/4/25				
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/4/24	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号				
							F1-ICWBL-77				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β・α 汚染の 有無				
							β+γ 線量率				
1	砕石	B	04	D	A	7 m ³	0.002 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有	1 mSv/h	
2	ガラ	B	10	D	A	8 m ³	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.7 mSv/h	
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					
土のうにてW1に運搬15袋											

受 付 番 号				2018/4/25
高2018	—	05	—	
調整後保管日時		2018年5月7日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年5月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	砕石	10 μSv/h	13 μSv/h	6.5 mSv/h	エリアW1	2018/5/7 8:25	7 m ³			1
	2	1	ガラ	10 μSv/h	10 μSv/h	580 μSv/h	エリアW1	2018/5/7 8:25	8 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。